

# くもダス

～いろいろな雲の動きをみてみよう～

## ? くもダスってどんなシステム?

みなさんは、アメダスってご存知ですか？気象庁の無人観測施設である「地域気象観測システム」(AMeDAS: Automated Meteorological Data Acquisition System: 自動気象データ収集システム)のことです。科学センターでは、雲の様子をはじめとする空の様子を自動観測できるシステムを開発し、この「アメダス」の名前を引用して「くもダス」と命名しました。

直径5mのドームに、西隣にある学習棟屋上露台上設置されている2台のカメラがとらえた空の様子を映し出しています。また、10種類のコンテンツボードによって、季節による空の変化の様子や過去の映像を見ることができ、雲のでき方の違いやくもクイズなどのコンテンツを通して、雲について楽しみながら理解することができます。



## ? 雲はどのようにしてできるの?

海や地面の水が太陽の光であたためられると、水が蒸発して水蒸気になり、空気中のちりとまざります。水蒸気はあたたかい空気の上昇気流に運ばれて、ちりと一緒に上空へ運ばれます。上空で空気が冷えるとちりに水蒸気がくっつき、水や氷のつぶができます。この小さな水や氷のつぶがたくさん集まったものが雲なのです。この雲の中の水や氷のつぶがくっつき、大きく重くなって地表に落ちてくる。これが雨や雪なのです。



## ? 雲からどんなことがわかるの?

さまざまな雲の種類があることから、雲の種類によっておおまかな天気の変化が予測できます。高いところにある雲は、太陽の光を反射して白い色に見えます。これは、晴れているときに出る雲ということが分かります。逆に低いところにある雲は、暗い色になるから雨を降らせることが多い雲ということがわかります。

日本には基本的な雲として巻雲、巻積雲、巻層雲、高積雲、高層雲、乱層雲、層積雲、積雲、層雲、積乱雲の10種類があります。

この「くもダス」では、毎朝4:00から現在の時刻までの南または北の空の様子の変化が見られます。空に浮かぶ雲がどちらの方角に動いて変化していくのか、どのような種類の雲が発生しているのか、じっくり観察することができます。



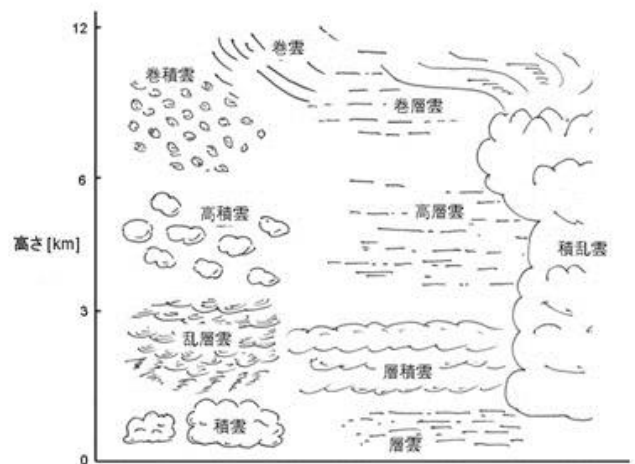
積乱雲



乱層雲



積雲



## 探究・研究コーナー! 調べてみよう!

1年の中で、どのような時にどのような雲が発生しやすいのか、このくもダスを使って、1日の雲の動きを学習してみましよう。また、天気や降水量などの関係も調べてみましよう。